

ちよつといつぶくしませんか？

# Tea Break vol.2

県保連リスクマネジメント講座



## 遊具の安全管理

… ある園の取り組みを紹介しながら



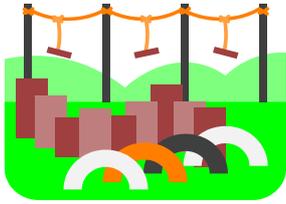
### ●事故が繰り返される理由

『楽しく遊ぶ安全に遊ぶ遊具事故防止マニュアル』（松野敬子・山本恵梨著）がわ出版（2006年）によれば、遊具による事故が繰り返される理由として、①遊具の安全基準が最近までなかったこと、②遊具の責任省庁がはっきりしていないことが挙げられています。

①については、2002年に、国土交通省から「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」が出されて以来、遊具メーカー・設置者は、この指針に基づき遊具の設計・施工・設置等に努めるようになりましたが、指針には義務的拘束性がないため、先述のような手作り遊具、研究開発力の弱い中小メーカーの遊具、指針発表以前の遊具等の安全管理は今もって徹底されていないのが実情です。また、②については、例えば学校は文部科学省、保育園は厚生労働省、都市公園は国土交通省と、監督省庁が分断されているために、依然として、遊具の安全性をトータルで監督する省庁がない状況です。

### ●2つの安全点検

このような状況下、園内外にある遊具：ブランコ、滑り台、ジャンゲルジム、うんてい、シーソー、コンビネーション遊具（複合遊具）等による事故リスクを軽減していくためには、何よりも遊具が安全な状態にあるか否かを見定める安全点検が不可欠です。これに



は、次の2つの方法による実施が求められています。

### （1）専門業者による安全点検

県の指導監査では、定期的（月1回）な自主点検に加え、年1回は業者による安全点検を実施することが望ましいとされています。しかし、「業者」の規定が曖昧で、判断は各園によってまちまちです。これでは、業者によって安全点検の見地がバラバラで、点検結果もどこまで信用できるのかはつきりしません。

先述のように、2002年の指針はあくまでガイドラインのため、法的規制や強制力を持ちません。そこで、遊具メーカーの任意団体である社団法人日本公園施設業協会が『遊具の安全に関する規準 JPFAS 2002』を発表し、随時改定が繰り返されています。できれば、各園では、この協会加盟業者（公園施設製品安全管理士）に、最新の規準による安全点検を委託し、必要に応じて速やかに改修を行いたいものです。（※費用はやや高め。点検結果により、不慮の事故発生時の保証あり。）

### （2）定期的な自主点検

遊具は、日々の子どもの使用や風雨等により、痛みや緩み、腐食等が進みます。遊具に最も身近で良く知っているのは、私たち保育者です。私たちが目や手でしっかりと点検していくべきは当然でしょう。筆者の園では、毎週1回（月曜日の朝・早番）、所定のチェックリストに従い、遊具をはじめ施設設備の安全点検を実施し、改修を要する箇所や危険箇所等が発見され次第、子どもたちが使用や立ち寄りができないよう措置等を講じています。

### ●ハインリッヒの法則に学ぶ

「1件の重大事故の陰には29件の軽災害があり、その陰には300件の怪我はないがヒヤとした体験がある」



これはハインリッヒの法則といわれ、遊具事故に限らず多くの労働災害の分析から導き出されたものですが、「事故は予測できる」つまり、大きな事故には数多くの予兆があり、その予兆を無視すれば重大事故につながるもの、予兆を調査し分析することで、リスクを軽減・回避するための対策を打ち出せることを意味しています。「この法則は、園の安全対策を進める上でも、とても大事な視点です。」

### ●総合的な安全対策を

筆者の園では、日常的にヒヤとした体験を『ヒヤリハット記録』で報告し、専門チームにより定期的に問題点を分析しています。また、『園庭・戶外遊びマニュアル』を作成し、注意点や配慮点について図表を示しつつまとめ、職員間で共通理解に努めています。子どもは危険予知能力が低く、また好奇心等から保育者が思いもしない行動やスリルを楽しむ行動をとりがちです。しかし、一度事故が発生すると「遊び方が悪かったから」では済まされません。安全点検の実施、遊びの監視体制（遊ばせ方・見守り方）、ヒヤリハット分析など、総合的な安全対策を講じることが、子どもたちを痛ましい事故から遠ざける「近道」となるのです。

●後を絶たない遊具による事故  
今から十数年前、筆者の地元（鯉ヶ沢町）の小学校で、保護者が古タイヤを活用して作ったブランコに、女児が巻き込まれ亡くなる事故がありました。また、この夏には、卒園児が五所川原市内の公園の箱ブランコと土面に頭部を挟み、あわや！という事故がありました。全国各地の公園や学校、保育園等で、箱ブランコをはじめとする遊具による事故は後を絶ちません。